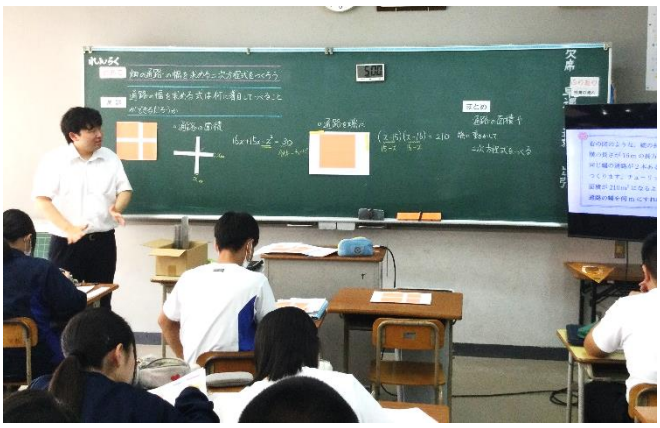
令和７年９月９日（火曜日）

佐伯市立佐伯南中学校　木元　義晴先生の授業です。

授業の単元は、第３学年「二次方程式」。長方形の畑の中に同じ幅で縦と横に通路を作るといった日常の事象において、二次方程式を用いて問題解決を図る場面です。

導入で、事前に撮影しておいた地域の田んぼの写真等を示した際、多くの生徒が大型スクリーンに釘付けとなり、生徒の興味・関心を高めることにつながりました。さらに、写真等を基にした生徒とのやり取りにより、生徒が問題を引き受け、主体的に取り組むことができるような雰囲気づくりができました。

また、「努力を要する状況」の生徒に対する手立てとして、操作活動を通して立式につなげられるよう教材を事前に準備したり、生徒の発表の後に他の生徒に対して、気になったことや分からなかったことを問い返したりし、一人でも多くの生徒の理解につながるような取組がなされていました。

事後研では、学習の見通しをもたせ、意欲を高める「めあて」の設定についてや生徒の学習状況を見取って手立てを講じる場面について、小学校での学習内容の把握の必要性についてなどを確認しました。その中で、メモを取ったり、質問したりし、よりよい授業にするために取り組む木元先生の姿が印象的でした。今後も、さらに生徒の力を伸ばしていくことができるよう授業改善に努めていってくれることを期待しています。